

令和4年度 学校自己評価計画書

石川県立七尾特別支援学校珠洲分校

重点目標	具体的取り組み	担当	現 状	評価の観点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備考
1 授業実践力の向上 (授業改善・ICT活用)	全職員が研究授業を行い、各部ごとで整理会を行うことで「児童生徒の特性を踏まえた上での主体性を引き出すための手立て・工夫」についてまとめ、共有することで授業改善につなげていく。	教務課	職員各自が担当の児童生徒の実態把握を行い、それぞれの児童生徒に応じて主体性を引き出す授業を展開しているが、個々の授業実践の全体へのフィードバックが不十分である。	【成果指標】 研究授業や整理会を受けて自らの授業改善に取り組んだ教員の割合で評価する。 1：取り組めた 2：取り組めなかった	授業改善に取り組めた教員の割合が A：90%以上 B：70%以上 C：50%以上 D：50%未満	C以下の場合は内容や取り組みを再検討する。	前・後期に学校評価教員アンケートを行い評価する。
2 組織的・系統的なキャリア教育 (家庭との連携)	児童生徒が家庭での自分の役割をもち、それを継続して行うことができる。	自立・進路課 各学部	昨年度から「キャリア通信」などを通して、進路指導についての情報発信を行い、学年の早い段階からの進路選択などについて意識を高めることができた。今年度は、キャリア教育の実践を学校と家庭が連携をしながら進めていくために、児童生徒のキャリア発達に向けて、活動への意欲が育つ取り組みを進めていきたい。	【努力指標】 学校と家庭が連携して決めた役割を、児童生徒が一定期間、継続的に取り組む。	家庭での自分の役割について、別途指定する一週間のうち、4日間以上取り組めた児童生徒の割合が A：70%以上である。 B：60%以上である。 C：50%以上である。 D：50%未満である。	C以下の場合は、取り組みを再検討する。	前・後期の特定の週間に取り組み状況を調査し評価する。
3 安心・安全な学校づくり	避難訓練（火災・地震・津波）や珠洲分校版シェークアウト訓練を実施することで日常の防災意識を高める。	生活支援課	防災訓練や防犯教室などの学校の安全・安心な学校づくりに関する取り組みは実施している。さらに日常の防災意識を高める取り組みの充実を図りたい。	【成果指標】 安心・安全な学校づくりのための取り組み後、振り返りを行い教職員の共通理解を図るとともに、取り組みの実施回数で評価する。	安心・安全に関する取り組みの実施回数が A：9回以上 B：7回以上 C：5回以下 D：3回未満	C以下であれば取り組み内容及び方法を再検討する。	安心・安全に関する取り組みの実施回数で評価する。
4 業務の効率化	児童生徒の支援に関わる情報の共通理解、業務の分担の推進など、個々の目標を立てるとともに、それらを共有化することにより業務の効率化を図る。	全職員	一人一人の教員は業務改善の意識を持ちながら業務に取り組んでいるが、十分に改善がなされているとはいえない。個人ごとに自らの業務の見直しを図る意識を持つことが必要であると考ええる。	【努力指標】 各自の校務分掌や教材研究等に充てる時間の課題を把握し、業務の見直し・整理に向けた取り組みを行う。	改善の取り組み目標に達成した教員の割合が、 A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	中間評価でC以下の場合は内容や取り組みを再検討する。	前・後期に学校評価の教員アンケートを行い評価する。